



# 世界最大 水草植物園

## 水草保全ネットワーク、開園です。

水辺の生態系は地球環境において重要な役割を果たしています。水生植物はその重要な構成要素であるとともに、敏感な環境指標でもあります。また日本では、湿地や水辺が人の生活に強く結びついてきた歴史があり、生物学的観点だけでなく文化や心情的な面からも、人と自然のかかわりを再認識する場としてその価値が認められてきました。

しかし我が国における水草をとりまく状況は決して樂觀できるものではありません。湿生植物を除いた「狭義の水草」約220種類のうち、絶滅危惧種および準絶滅危惧種は88種類（環境庁2000）。つまり日本の水草の約40%は絶滅の危機に瀕しているのです。2000・2003年の日本植物園協会「絶滅危惧植物の保有状況調査」によれば、日本の植物園における絶滅危惧水草の保有率（約34%）は、維管束植物全体（約38%）とそれほど変わりません。しかし水草は非常に多様な生態・生育環境を持つため、個々の植物園が保全できる種類には限界があります。今後、保有率を向上し、日本の水草相全体を将来にわたって安全に保全するためには、植物園など様々な機関の力を結集する必要があるのです。

そこで私たちは、植物園を中心とした複数の機関でネットワークを形成し、緊密な情報共有体制の基に、個々の立地環境や地域性、設備、研究対象に基づいた適地保全をより強化し、その資源を研究・教育・自然再生などに有効利用することを目指して、水草保全ネットワークを発足しました。

水草を保全している

NPO・学校・個人の方々のご連絡をお待ちしています。

[www.bgtym.org/aquatic-plant](http://www.bgtym.org/aquatic-plant)  
[aquatic-plant@kahaku.go.jp](mailto:aquatic-plant@kahaku.go.jp)

